

大台ヶ原を水源とした流域の流出解析 Runoff analysis of the water resource from Odaigahara

谷口 正伸^{1*}, 井伊 博行¹, 平田 健正¹
Masanobu Taniguchi^{1*}, Ii Hiroyuki¹, Tatemasa Hirata¹

¹ 和歌山大学

¹Wakayama University

最近では水による災害が多くなり、紀伊半島でも2011年8月30日からの台風の豪雨により河川が氾濫し、堤防が決壊して都市機能が破壊された。紀伊半島は非常に雨量も多く、これまでダムを整備、道路の整備、堤防の整備など対策がなされてきた。これまでも治水、利水から河川計画が幾度も練られ、改善されてきたが、予想を超える水量に耐えきれず、今回大きな被害を出した。そこで、本研究ではGISデータの加工処理から、水収支解析までシステム化することにより、分布型の水収支解析システムの開発と紀伊半島の大台ヶ原を水源とする紀ノ川、熊野川、宮川における洪水時の水収支の解析を行った。8日間での流出量は紀ノ川で4.98億m³、新宮川で160億m³、宮川で4.25億m³であった。

キーワード: 流出解析, 紀伊半島, 台風, 河川流量, 流出

Keywords: Runoff analysis, Kii Peninsula, Typhoon, River flow, Outflow